

(広報資料)

令和元年9月30日
京都市総合企画局
〔プロジェクト推進室〕
プロジェクト推進第四担当
TEL 222-3992

西陣を中心とした地域の活性化を目指し
路地の魅力を発信！

西陣「路地の家具」デザインコンペティション2019の実施について ～「路地から始める西陣暮らし」プロジェクト始動！～

京都市では、西陣を中心とした地域の有する多彩な魅力・資源を活かし、地域の活性化を図るため、平成31年1月に「西陣を中心とした地域活性化ビジョン」を策定しました。今年度から、このビジョンに掲げる活性化方策を具体的に進めていくため、民間事業者が主体となり本市がその初期取組を支援する活性化プロジェクトを立ち上げています。

その一環として、西陣で路地に着目した取組を展開している「特定非営利活動法人 アニュアル ギャラリー ANEWAL Gallery」が「京町家・路地の魅力を活かしたまちづくり」等を推進する「路地から始める西陣暮らし」プロジェクトを始動します。

この度、本プロジェクト最初の取組となる「西陣「路地の家具」デザインコンペティション2019」を開催しますので、お知らせします。

1 開催趣旨

西陣の路地に設置する「路地の家具」のアイデアを全国から募集します。

このコンペの開催を通じて、西陣に今なお数多く残る路地のクリエイティブなイメージを発信することにより、住まいや制作環境として西陣の路地に注目を集め、今後、西陣を拠点として活動し、地域活性化の担い手となり得る若手クリエイター等を発掘し、地域に呼び込むことを目指します。

2 募集概要（※詳細は別添チラシ参照）

(1) 応募資格

- ・ 応募時の年齢が18歳以上39歳以下の個人であること。
- ・ 日本語でのコミュニケーションが可能であること（国籍は問いません。）。

(2) 募集期間

令和元年10月1日（火）から11月4日（月・休）まで

(3) 応募方法

応募用紙(*1)と作品パネル1枚(*2)を提出してください。

(*1) 6に記載のホームページからダウンロードできます。

(*2) A3サイズ片面横とし、スチレンボード（5mm）に貼付してください。

3 選考方法

(1) 第一次選考

提出された作品パネルにより、公開審査を行います。

審査員による審査と一般投票により、最終選考対象作品4点及び佳作を選定します。

※ 最終選考対象作品に選ばれた方には、実際に作品を制作していただきます(制作補助費5万円の支給があります。)

(2) 最終選考

実際に制作された作品を、応募者によるプレゼンテーションを踏まえて審査し、最優秀賞を選定します。

4 審査員

高田 光 雄 (京都美術工芸大学工芸学部教授)

奈良 馨 雄 (公益社団法人京都デザイン協会代表理事,
特定非営利活動法人京都西陣町家スタジオ代表理事)

水野 歌 夕 (写真家, 町家写真館館長)

山本麻友美 (京都芸術センター チーフプログラムディレクター)

吉田 創 一 (株式会社フラットエージェンシー代表取締役)

5 表彰等

(1) 最優秀賞 《1点》 賞金10万円, 賞状, 本市イベント等での展示

(2) 優秀賞 《3点》 記念品, 賞状, 本市イベント等での展示

(3) 佳作 《数点》 賞状

6 今後のスケジュール

10月 1日 (火) ～11月 4日 (月・休)	募集期間
11月15日 (金) (9時～15時) ・16日 (土) (11時～17時)	第一次選考会 (公開審査) 【会場】 京都信用金庫西陣支店2階 クリエイティブコモンズ
12月初旬まで	第一次選考結果 通知
令和2年3月	最終選考会・表彰式 入賞作品展 ※詳細は後日発表

7 参加申込み・作品提出先

特定非営利活動法人 ANEWAL Gallery

所在地 京都市上京区堀川通寺之内上る上天神町630

電話 075-431-6469

HP URL <https://kagu2019.roji-cul.net/>

8 主催

京都市・特定非営利活動法人 ANEWAL Gallery

「路地の家具」とは・・・

伝統的なものとしては、町家の軒先に置かれる「床几」や「ぱったり床几」と呼ばれるものがあります。人々が腰掛けて、夕涼みをしたり、世間話をしたりと、心和むようなコミュニケーションの場となっていました。

このコンペでは、路地の雰囲気にもマッチする現代的な感覚の作品の応募も期待しています。



町家に設置されているぱったり床几

「路地から始める西陣暮らし」プロジェクト

西陣を中心とした地域に今も数多く残る路地を、ポジティブな観点で再評価し、活用することにより、この地域の活性化につなげることを目的とするプロジェクト。

路地は、通路が狭いことから、防災上の問題や、家屋の再建築が困難であるなどの課題がある一方、車が入れないことから安全性が高く、家賃も比較的安価であるなどの魅力もあります。

こうした路地の特性を踏まえ、路地を活用したイベントの実施や、その魅力の発信等により、子育て世代や若手クリエイター等の路地への移住促進を図るとともに、この地域に息づいてきた暮らしの文化の継承と、路地を核とした創造的環境の整備等に取り組んでいきます。

